

AI 博覧会 SUMMER2025

20250827

東京国際フォーラム ホール E

AI 博覧会は、「AI の社会実装で、未来のビジネスを拡大する」というコンセプトのもと、AI 技術の最新動向を体感し、導入の可能性を探る場として開催された。業務効率化やサービス向上を目指す企業・自治体関係者に向けて、生成 AI をはじめとする先端技術のデモンストレーションや、導入事例を紹介する講演が多数行われ、参加者にとって実践的な知見を得る貴重な機会となった。

特に自治体職員にとって、本博覧会は現場の課題に対する具体的な解決策を見出す場として有益である。窓口業務の効率化、住民サービスの質的向上、さらには DX 人材の育成といった自治体が直面する課題に対し、AI 技術を活用した実践的なアプローチが多数紹介された。例えば、北九州市の事例では、生成 AI を政策立案や住民対応に活用する取り組みが紹介され、他自治体にとっても参考となる内容が多く含まれていた。

また、出展企業の一つであるイルシル社は、自治体職員向けに PowerPoint 資料作成を支援する AI サービスを提供しており、資料作成業務の効率化や、職員不足・市民ニーズの多様化への対応に資する技術として注目を集めた。こうしたサービスは、自治体の情報発信力を高めるとともに、限られた人的資源の中で業務の質を維持・向上させる手段として期待される。

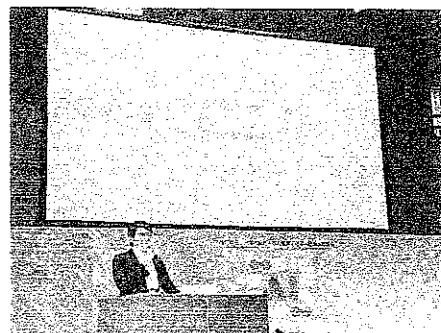
本博覧会を通じて得られた知見は、自治体における AI 導入の可能性を広げるものであり、今後の地域課題解決や行政サービスの高度化に向けた重要な一歩となる。他自治体の成功事例を参考にしながら、自地域に適した AI 活用モデルの検討を進めることが求められる。



15:30

生成 AI 活用の光と影に挑む！攻めと守りの最前線

仲川 拓馬氏



生成 AI 活用における様々な脅威について

- ・暮らしの変化と生成 AI

例：電気の発明と暮らしの変化においてメリット・デ

メリットがある

使い方を間違えれば「死」に至るケースもある

- ・AI のメリット 業務効率・デザイン・アイデア・コスト削減、24 時間活用等

- ・デメリット ハルシネーション、個人情報、サイバー攻撃、責任の所在が不明

(ゼロクリック⇒調べない、ひとつだけの答えを AI にたよる。フィッシングメールの自動化⇒日本語の不自然さがなくなってきた。なりすましチャットや音声⇒著作権の侵害、フェイク動画等)

@どのようにして防ぐか

- ・まず初めに、人的教育が必要

- ・使っているサービスの脅威態勢を確認（定期的な診断を受ける）

- ・リンクやファイルを分離・隔離しておく（個人 AI の LLM と社内の LLM の関係性は？）

- ・企業の脆弱性を見つけて攻撃してくる可能性（ペネトレーションサービス）

- ・SNS やダークウェブへの情報流出（脅威インテリジェンス・テイクダウン）

要は、核攻撃に対し、各々の対策を講じる必要がある。

- ・基本は入力と出力となるため、漏洩や侵入というリスクが伴う

- ・それらの脅威をエンジニアや利用者が知っているか（学ばなければいけないフェーズが来ている）

- ・どのタイミングで攻撃を受けるか（脅威の可視化）が必要

- ・外部からのメールは信頼できますか？転送しても問題ありませんか？添付ファイルは大丈夫ですか？（もし、このアカウントが盗まれたものなら…ウイルス汚染）

- ・エンドポイント対策として、外部から来たファイルを信頼しないこと。バーチャルボックスのなかでファイルを開け、安全性を確かめる。それらの作業を自動的に実施するサービスも出ている）

生成 AI が一般的になった今。まさに、それらの活用の仕方だけでなく、リスク（脅威）も学びながら、リスク対策をしていかなければならない。

17:00

生成 AI 時代の SEO・GEO

株式会社サイバーエージェント 木村 賢氏

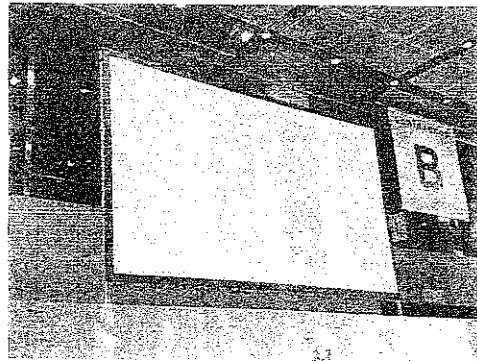
SEO の最適な検索サービスにたいして、GEO
は？（LLM と類似）生成 AI の最適化

・ AI によって検索流入は減っているの？

気づけば AI オーパービューとなっていて、SEO
35% が減少（ゼロクリック検索）

ゼロクリック検索になるのは AI オーパービューの回答に満足してしまう

検索ワードに潜在的要素を入れながら、回答する（クエリーファンアウト）



まとめ

Google の AI オーパービューの説明及び活用の仕方の講義を受けた。「複数のウェブサイトから情報を統合して要約する」という点を踏まえ、自治体における AI 活用のメリットとして、その機能を盛り込んだ文章を作成することができる。

地方自治体が抱える人手不足や業務の非効率性といった課題に対し、AI 技術、特に生成 AI や大規模言語モデルを導入することは、業務の効率化、住民サービスの向上、そして持続可能な行政運営を実現するための不可欠な戦略となります。AI オーパービューが複数の情報源を統合して簡潔な回答を生成するように、自治体も AI を活用して複数の部署やウェブサイト に散らばる情報を統合し、住民からの問い合わせに対して、一元化された正確かつ迅速な回答を提供できます。これにより、市民からの問い合わせ対応の自動化やバックオフィス業務の合理化を通じて、職員がより本質的な業務に集中できる環境を整え、住民の生活の質を向上させる強力なツールとなる可能性がある。

【事業構想地域創生サミット】

事業構想大学院大学東京校

20250828

—地方創生 2.0 に向けた方策—

2025 年 6 月、政府より発表された「地方創生 2.0」は、地域政策の新たなフェーズへの移行を示す重要な転換点となっている。

まち・ひと・しごと創生法の施行より 10 年。これまでの成果を活かし、都市も地方も、安心安全で心豊かに暮らせる持続可能な地域経済社会を創る「地方創生 2.0」として、新しい地方経済・生活環境創生本部が立ち上げられ、6 月には基本構想が発表された。

本サミットでは、基本構想が発表されたこのタイミングで、内閣官房やデジタル庁の幹部、具体事例を持つ企業が登壇し、地方創生 2.0 や地域のデジタル施策について、自身の地域が取り組むべき学びを得る機会となった。

Opening

事業構想大学院大学

司会・コメンテーター 事業構想大学院大学 特任教授 関 孝則

13:00-13:30

<基調講演> 地方創生 2.0 起動 —基本構想とその目指すところ 令和 7 年 6 月 13 日閣議決定
内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局長 海老原 論 氏

地方創生 10 年。この間、全国で地域の活性化につながる好事例が多く生まれるなど地方創生の成果が現れる一方、東京圏への一極集中や地方の人口減少などの課題は未だ残されている。こうした中、強い経済と豊かな生活環境に基づく「新しい日本・楽しい日本」の実現に向け、令和 7 年 6 月に「地方創生 2.0 基本構想」が閣議決定され、今後 10 年間を見据えた地方創生 2.0 の考え方や目指すところの解説があった。

～今どのような動きをしているのか～

- ・人口減少に歯止めをかける 今生まれる子どもは 80 万人をわりこんでいる→人口減少しても地域が元気でいられるという設定。また、企業においても人手不足により廃業等が増加している。ゆえに、地方公務員の副業を認めていく方針、地域のエッセンシャルワーカー不足を補うため。

- ・今回の有識者会議はメンバーを総入れ替えした。男女 8:7、ベンチャー起業家、地方ゼブラ企業家等、あらたな意見を取り入れることとした。いかに、自治体と新世代の方々とのタッチポイントをつくっていくか。

- ・人口減少の心配は、経済がシュリンクしてしまうこと。ゆえに、ひとりひとりの GDP を挙げていく経済を目指す。追い風として、インバウンドの増加、AI や DX の進化や発展。要は人を補う手段として

活用すること、更にはそれらの分野の産業発展が望める。

- ・これまでの地方創生の反省点として若者や女性の流出要因分析、国と地方の役割が不明慮

地方創生 2.0 基本視点

国としては人材支援や人材育成、情報支援、デジタルツールの整備、規制改革、財政金融支援、広報周知⇒地方がいかにデータを活用及び分析して、強みや弱みを把握すると共に戦略を考えること。

- ・データドリブンな行政の在り方として、交通空白地域を 2027 年（3 年以内）にリデザインを強化していく。政策を体系化していく、いわゆる実証実験を積極的に行う。
- ・第二世代交付金⇒具体的な KPI を定めた事業に対し、建設費用を補助する。KPI を定めることが必須。なんのため、だれのためにするのかを明確にする
- ・デジタル実装型、地域防災緊急整備型、地域産業構造転換インフラ整備促進型
- ・国家公務員の伴走支援チーム制度 180 名、60 チーム
- ・人口減少の認識変化

13:30-13:50

地域資源を環境資本へ

ー森林カーボンクレジットがもたらす新しい地方創生モデルー

株式会社ステラグリーン 代表取締役社長 兼 CEO 中村 彰徳 氏（SB グループ、さとふる）

「地方創生構想」が掲げる“強い経済”と“豊かな生活環境”の実現に向け、地域の森林や海藻などの自然資源―すなわちグリーンカーボンやブルーカーボン―を環境資本へと転換する発想は、その道筋を開くヒントとなります。排出量取引制度の本格化を前に、企業はカーボンニュートラル実現の実行段階へ。最新の制度動向と先進地域の事例を交えながら、自治体主導で進める新たな地域づくりの可能性の解説であった。

- ・要は緑と海をどう地方の資源に変えていくか
- グループ会社である「さとふる」において、あらたな財源の掘り起こすという名目で地域に多くある山や海のカーボンクレジットに主眼をおいている。

地方創生 2.0 の重要なキーワード GX と DX 稼ぐ力を高め、付加価値を創出する新しい形の地方経済の創生。新生代のインフラ整備と AI やデジタル技術の徹底活用が挙げられる。

- ・カーボンタックスのみならず、有価証券報告書においても脱炭素の取り組み報告が義務化される
- ・カーボンクレジットにおいて、単に買えばいいというものではない、地域のコンテキストや地域発、地産地消等、いわゆる質の高いクレジットが必要となる。
- ・カーボンクレジットは地方における、新たな経済循環のトリガーなる。
- ・調査⇒申請⇒承認⇒クレジットの発行⇒販売可能

調査・申請時におけるイニシャルは多額、ステラグリーンはそれらのコストや申請サポート等を一気に通貫でサポート、クレジットとして認定された場合、販売価格から手数料を支払う仕組み。

13:50-14:10

成長の源泉は、社会を巻き込む構想力にありーボールパーク構想に学ぶ、社会価値の実装

ファシリテーター 松江教授

エスコン 代表取締役社長 伊藤貴俊氏

ファイターズ スポーツ&エンターテインメント 常務取締役・北海道日本ハムファイターズ 取締役
前沢 賢氏

北広島市 副市長 川村 裕樹氏

- ・野球×旅行・飲食・ホテル×まちづくりのコンセプト
- ・エスコンフィールドの用地は、もともと北広島市が何らかのスポーツ施設を創ろうと考えていた用地に、ファイターズが10年先を見越したボールパークを創ろうと話を持ち掛けた。
- ・公平不公平感を払拭する理論が大変だった。どうしてその企業だけ、ということ。⇒稼げるボールパーク、財源資産がこれだけできる、施設ができると2次的経済効果やにぎわい生まれる。ファイターズは唯一無二の企業。球場を核にしたまちづくり。
- ・民間と自治体の未来思考まちづくりが合致してこそ、民間は投資する、と。(デベロッパー、エスコン社長)
- ・ファイターズの移転が決定して、役所全体の雰囲気断然変化した。
- ・人事異動で人がかわっても、マインドや手法が変わらないように、人材育成が必要である。(市長)
- ・特に土木職の意識変化が表れてきた(事業構想ができる人材)
- ・共創を共同でおこなっていける構想を

14:25-14:55

<特別講演> デジタル社会の実現へ行政が抑えるべきキーファクター ～AIは行政事務をいかに変えるのか～

デジタル庁 審議官 奥田 直彦 氏

AI・デジタル技術等のテクノロジーの徹底活用により、社会全体のデジタル化推進や地方創生 2.0 の実現を目指している。このためには、政府や地方公共団体、事業者における安全・安心な AI 利活用の促進が必要である。政府による積極的な生成 AI の利活用に向けた仕組みの整備、地方公共団体が AI を活用し、各行政事務・サービスの質の維持・向上や業務効率化を図ることへの支援等の解説であった。

・IT化だけを目指してしまった。手段が目的化されてしまったのが反省点。

1 デジタル社会実現に向けた重点計画(令和7年6月)

新たな価値を創出していく。制度・業務・システムを三位一体で取り組み推進⇒デジタル化のメリットを実感できる分野を着実に増やす

・AIやデジタルを普段の生活の一部として、無意識に活用できる社会にしていくこと

2 AI 推進法の概要と今後の AI 活用 (6 月 4 日施行)

- ・ AI 開発・活用は遅れている。さらには国民の AI に対する不安が払しょくされていない。
- 国際指針に順次、イノベーション促進とリスク対応を両立。最も AI を開発活用されやすい国へ。

3 デジタル庁において

- ・ 国は行政事務の効率化及び高度化を図るため、行政機関において AI 技術の積極的な活用を進めるものとする
- ・ アイデアソンやハッカソンの開催⇒AI 活用の機運づくり⇒宇和島市で AI ハッカソンを実施
- ・ デジタル日本というレポートが月一回、政府に報告されている。

14:55-15:15

地図データで変わる自治体 DX

株式会社 Geolonia 関 治之氏

地理空間データ連携基盤を活用した自治体 DX の推進方法をご紹介します。

業務効率化から住民サービス向上まで、実際の導入事例を通じて具体的な効果とコスト削減策を解説。デジタル化に取り組む自治体の皆様に実践的なヒントを、実際の事例のデモを交えての解説であったら

- ・ Codo for Japan の代表理事でもある
- ・ 自治体のデータ活用について、地方創生 2.0 において国・市町村という縦の連携でなく、横の自治体間における横のつながりが大切と定義。そこで、ハード面ではなくデータをいかに活用した横の関係を創っていくかである。
- ・ 広域リージョン連携の必要性。多様な主体が広域的に連携することとしている。これを支えるシステムこそ、デジタルであり、都市 OS である。(データ連携基盤)
- ・ そもそも何のために都市 OS を入れるの？が明確ではなかった。可視化できない。サービス開発できない。イニシャルが高価等。
- ・ なぜ、データ連携基盤が機能しなかったのか。そもそも、基礎自治体が広域連携した経験が少なかった。データ形式の標準化を推進する主体がない。各ベンダーが作り変えるはずがない。また、ビジネスモデルが描けない。市民向けにマネタイズができない。
- ・ そのためには、複数部署で簡単に活用できる。アプリが創りやすい。既存データベースと接続しやすい。

～地理空間データ連携基盤～

- ・ 既存データをすべてマップに落とし込みレイアで重ね合わせるようにして可視化(道路・子育て・農業・交通等)⇒API や SDK を提供すると一度整備した地図を様々な人が引用してサービスをつくることができる。
- ・ 高松市 ハザードマップアプリ タップしたところの情報が一目でわかる。駐車場情報。
- ・ マップから何かができる(市民サービスができる)という考え方。グーグルマップが一般的になっているのが、その理由。

15:15-15:35

<事例講演>スマートシティの実現に向けた大阪府の挑戦

大阪府 CDO 兼 スマートシティ戦略部長 市瀬 英夫氏

大阪府は、国家戦略特区・スーパーシティの指定を受け、データ連携基盤を活用した「データ駆動型スマートシティ」の実現を推進しています。また、官民連携により地域課題の解決に取り組み、住民のQOL向上を目的としたWell-beingなまちづくりを進めています。スマートシティの実現に向けた、これらの大阪府の挑戦についての解説であった。

- ・元富士通・DELL・AWS出身 民・官・民・官とわたり歩いたデジタルスペシャリスト
- ・大阪府の公募により、現在、府の職員として活躍
- ・大阪のスマートシティ戦略 吉村知事、最先端の技術を使い府民の暮らしを豊かにすることを公約
- ・スマートシティ戦略部 80人うち民間15人が出向 デジタル情報化は解散し、ここに組み込まれた
- ・20億円の基金を集めていて、SUに投資している。特にヘルスケア部門へ。
- ・データ駆動型スマートシティをめざす⇒大阪広域連携基盤（ORDEN）を活用
- ・大阪のORDENを他都市で活用してもらおうべく、広域データ連携基盤活用の勉強会を実施している
- ・マイドアおおさか デジタルで行政通知がくる。郵送でない。(例：保育所の通知等)
- ・官民連携事例：行政データと民間データを掛け算したアイデアソン、ハッカソンを実施

15:50-16:10

地方創生を支える自治体/事業者『双方』の会計事務DX

株式会社インフォマート デジタルガバメント事業 執行役員 齋藤 文彦氏

地方創生を支える「地域の基礎体力」を高める手段として、帳票処理のスリム化・業務効率化・地域全体の生産性向上が可能な『会計事務DX』を解説。自治体/事業者を対象に実施したアンケート調査で集まった双方のホンネ、会計事務DXを実現した自治体/事業者が抱えていた課題や削減効果等の解説であった。

- ・戸田市や日向市において市民向けDXの導入から始まった（市民案内）
- ・最近では稟議書をデジタルで行う。しかし、民間からの請求書が紙で要求していて、結局はPDF化しなければならない。
- ・内部事務による時間の労力をAIやDX化できるかどうかである。会計事務DX
- ・紙請求書を受け取った自治体の事業効率化を行うシステム⇒会計事務DX⇒地域のデジタルイノベーション
- ・自治体会見担当360名のアンケート⇒反抗期の処理の煩雑化。保管場所。 地域事業者⇒自治体ならではの帳票類のやり取りが面倒。何度も役所に足を運ぶ。自治体による、帳票書類が異なる。電子でも押印郵送が求められる。

- ・要望⇒書式の統一化。押印を廃止してほしい。郵送代。入金日の記載がない。自社の請求書をそのまま使わせてほしい等。
- ・問題は内部監査時、議会決算等の帳票書類をどう整えるのか。(監査や議会、住民監査請求等の対応が必要)⇒審査過程においてタブレットもしくはPCを貸与し、帳票書類を閲覧できるようにする
- ・兵庫県多可町 年間2000件 鹿児島県鹿屋市 東久留米市 35000件 年間96冊の簿冊が14冊へ
- ・民間デジタル化が進まない理由⇒自治体からの要求がない 自治体⇒民間が必要としていないから
- ・東久留米市は総務省からベストプラクティスをもらっている

16:10-16:30

データ連携で実現するバックヤード改革 ー事例から学ぶ自治体DXのポイントー
アステリア株式会社 地域創生推進室 副室長 松浦 真弓

業務に特化したシステムの導入が進む一方で、システムのサイロ化が課題となっている。「データ連携」を行うことで、入力業務が効率化され、データの品質・整合性を保つことが容易なると解説。本セッションでは、バックヤード業務の効率化を実現された自治体様の実際の事例をもとに、ノーコードのデータ連携ツールを活用した自治体DX推進のポイントの解説であった。

- ・電子入札・電子申告・財務会計等(サイロ化)⇒データ連携 自動化による事務軽減
- ・これらをノーコードで職員が作成すること、そのような庁内マインドを変化させること
- ・DXは誰が担うのか 首長⇒ITエンジニア⇒現場の人材(このリテラシー不足・人材不足)



政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	F 1 - 1

項 目

☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
☐ 資料作成費
☐ 資料購入費
☐ 人件費
☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 5 月 8 日

支 出 額

5,000 円 (按分率)

支出内容

会費 (一般社団法人 MOA 自然農法文化事業団)

備 考

払込受領書
 (コンビニエンスストア支払用)

払込人氏名
 芝本和己 様

(1111) 501

金額
 5,000 円
 (内消費税 0 円)

受取人
 一般社団法人 MOA 自然農法文化事業団

収付代行会社 株式会社アプラス

受領印

収入印紙
 (コンビニエンスストア支払用)

受領印

お客様控

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	F3 - 1

項 目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
☐ 資料作成費
☐ 資料購入費
☐ 人件費
☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 6 月 6 日

支 出 額

115,230 円 (按分率)

支出内容

旅費(5/28-30 東京)、受講料
 $\yen 85,230 + \yen 30,000 = \yen 115,230$

備 考 ※旅費請求内訳書 別紙添付

領収書等貼付欄

領 収 書

芝本 和己 様

No.

発行日 令和 7年 5月 29 日

金額 ¥30,000- (税込)

但 第5回・第6回セミナー代として

上記正に領収いたしました。

内 訳

税抜金額

消費税等



一般社団法人自治体経営協議会

〒190-0012

東京都立川市曙町2-22-20

立川センタービル12階

TEL:042-595-6560(代表)

※免税事業者となります

旅 費 請 求 内 訳 表

旅 行 先		用 務					旅 行 期 間		日 数	
東京都(特別職)		政務活動のため					旅 自 至	5月28日 5月30日	2 泊 3 日	
月 日	旅 行 経 路	路 程 km	鉄 道 賃			船 航 空 賃	車 賃 実費又は定額	日 当	宿 泊 料	摘 要
			運 賃	特 別 料 両	車 金 急 行 料					
										定額表利用 A1451
										¥ 85,230 円
計			-	-	-	-	-			

航空機利用区間

公用車等利用区間

請 求 書

下記のとおり請求します。

令和7年 月 日

創和クラブ 代表者

中村 元彦 様

属 職 位	等 級	運 賃	日 当 宿 泊 料	そ の 他 料 金	旅 費 定 額 表	支 給 額	氏 名	請求印	領収印
議 員	市長級	—			A1451 C2+F2+(F1*2)	85,230	芝本 和己		
					43,980				
					41,250				
計		- 円	- 円	- 円	43,980 円	85,230 円	1 人		

整理番号

F3-1

令和 7 年 6 月 2 日

活動報告書

報告者名 芝本和乙

下記の通り、報告します。

日 時	令和 7 年 5 月 29 日 ~ 令和 7 年 5 月 30 日 (2泊3日)
場 所	東京
目 的	研修会参加のため
内 容	研修会参加

一般社団法人「自治体経営協議会」主催の研修会に参加した。

5月29日は「自治体システム標準化・ガバメントクラウドの取り組みと課題」として午前9時50分から16時30分まで5名の講師の先生の講義を伺う事ができた。

5月30日は「自治体DXの先進事例と今後の展望」として午前9時30分から16時20分まで初日同様5名の講師の先生の講義を伺うことができた。

頂いた資料とその内容は、これまでの自治体システム標準化や、自治体DXに関して様々なポジションに関わって来られた方々の最新の事例であった他、直接、疑問点を講師の方々に伺う時間も設けられており、多くの気づきを得た非常に有意義な機会となった。

両日共にあまりに情報にボリュームがある為、当日のスケジュール、講師、内容に関しては別添資料としたい。

今回の研修で得た知見をこれからの和歌山市のシステム標準化、およびDXに活かしていきたい。

自治体経営協議会セミナー

第5回

自治体システム標準化・ ガバメントクラウドへの取組みと課題

日 時：2025年5月29日(木) 9:50～16:30

会 場：AP東京丸の内

(〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー 3F)

主催：一般社団法人自治体経営協議会 (<https://lgmc.or.jp/>)

9:50～10:40	デジタル庁 デジタル社会共通機能グループ 地方業務システム基盤チーム 地方業務標準化エキスパート 千葉 大右氏 「地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化について」
10:50～11:50	北海道自治体情報システム協議会 総務課 課長 須田 幸児氏 「自治体クラウド（独自クラウド）による標準化の取組み状況について」
11:50～13:10	お昼休憩
13:10～14:10	静岡県掛川市 副市長兼CDO 石川 紀子氏 「“変えてみよう、市役所のあたりまえ！” DXだけじゃない、掛川市の自治体DX」
14:20～15:20	一般社団法人デジタル広域推進機構 代表理事（CEO） 大山水帆氏 総務省 地域情報化アドバイザー 「自治体情報システム標準化における課題と対応について」
15:30～16:30	「自治体システム標準化に伴うガバメントクラウド移行への課題、今後の展望」

自治体経営協議会セミナー

第6回

自治体DXの先進事例と今後の展望

日時：2025年5月30日(金) 9:30～16:20

会場：AP東京丸の内

(〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー 3F)

主催：一般社団法人自治体経営協議会 (<https://lgmc.or.jp/>)

9:30～10:30	総務省自治行政局 行政経営支援室長 併任 地域DX推進室 君塚 明宏氏 「フロントヤード改革の最新動向と課題、今後の展望」
10:40～11:40	一般社団法人自治体経営協議会 代表理事 榎並 利博氏 「Beyond 自治体DX：夢はあるか？」
11:40～13:00	お昼休憩
13:00～14:00	東京都八王子市 総合経営部 経営改革課 主査 富山 善登氏 「八王子市におけるBPR取組の変遷」
14:10～15:10	株式会社博報堂 ミライデザイン事業ユニット 地域共創プラットフォーム事業推進局 局長 島山 洋平氏 「富山県朝日町・(株)博報堂 官民連携による 「みんなでたのしいDX」取組について」
15:20～16:20	富士通シニアエバンジェリスト First Creative Agent代表エバンジェリスト 松本 国一氏 「日本の発展に必要なDXの話」

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	F4 - 1

項 目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
 ☐ 資料作成費
 ☐ 資料購入費
 ☐ 人件費
 ☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 6 月 19 日

支 出 額

16,550 円 (按分率)

支出内容

会費 (日韓文化協会・和歌山国際姉妹都市親善協会)
 $\yen10,000 + \yen275 + \yen6,000 + \yen275 = \yen16,550$

備 考



ご利用明細票

お 取 扱 日	取引店番/機番
07-06-19	234/09 I
金融機関コード/カード店番/口座番号	
[REDACTED]	
お 取 引 内 容	お 取 引 金 額
振込	¥10,000
おつり	手数料(含消費税) ¥275
1万円 5千円 2千円 1千円 硬貨 円	
14:40	口座残高
ゆうちょ銀行	
〇一九	
当座	
サ イ) ニツガツネ ツガキヨウカイ 様	

暗証番号の
おねがい
 生年月日や電話番号など他人が知り
得る番号を暗証番号に使用されている
お客様は、速やかに変更ください。
 <暗証番号はATMで簡単に変更いただけます>

ハモト カズキ 様

お知らせ

B 1995



ご利用明細票

お 取 扱 日	取引店番/機番
07-06-19	234/09 I
金融機関コード/カード店番/口座番号	
[REDACTED]	
お 取 引 内 容	お 取 引 金 額
振込	¥6,000
おつり	手数料(含消費税) ¥275
1万円 5千円 2千円 1千円 硬貨 円	
14:41	口座残高
ゆうちょ銀行	
〇九九	
当座	
リカヤマコケサイ シマイトツ シンセンキ ヨウカイ 様	

暗証番号の
おねがい
 生年月日や電話番号など他人が知り
得る番号を暗証番号に使用されている
お客様は、速やかに変更ください。
 <暗証番号はATMで簡単に変更いただけます>

ハモト カズキ 様

お知らせ

B 1995

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	F8 - 1

項 目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
 ☐ 資料作成費
 ☐ 資料購入費
 ☐ 人件費
 ☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 8 月 19 日

支 出 額

80,330 円 (按分率)

支出内容

会費 (和歌山正論懇話会)
 ¥80,000 + ¥330 = ¥80,330

備 考



自動
サービス
コーナー

ご利用明細票

お 取 扱 日	取引店番/機番
07-08-15	234/10 I
全額振替コード/カード店番(口) 座 番 号	
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
お 取 引 内 容	お 取 引 金 額
振込	¥80,000
お 付 け 金	手数料(含消費税) ¥330
お 付 け 金	1万円 5千円 2千円 1千円 硬 貨 円
9.49	口座残高
紀陽銀行	
本店営業部	
普通	
XXXXXXXXXXXX	
カヤマセイロコウジカキ 様	

暗証番号の
おねがい

生年月日や電話番号など他人が知り
得る番号を暗証番号に使用されている
お客様は、速やかに変更ください。
 <暗証番号はATMで簡単に変更いただけます>

ハモト カズキ 様

お
知
り
せ

© 1996

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	F 9 - 1

項 目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
 ☐ 資料作成費
 ☐ 資料購入費
 ☐ 人件費
 ☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 9 月 24 日

支 出 額

3,110 円 (按分率)

支出内容

会費 (わかやまスポーツ伝承館)
 ¥3,000 + ¥110 = ¥3,110

備 考



自動
サービス
コーナー

ご利用明細票

お 取 扱 日	取引店番/機番
07-09-19	234/10 I
お 取 引 内 容	
振込	お 取 引 金 額
	¥3,000
お 取 引 金 額	手数料(含消費税)
¥3,000	¥110
お 取 引 金 額	硬 貨 円
1万円 5千円 2千円 1千円	
10,481	口座残高
紀陽銀行	
本店営業部	
普通	
トクヒ.ワカヤマスポーツ伝承館様	

暗証番号の
 おねがい
 生年月日や電話番号など他人が知り
 得る番号を暗証番号に使用されている
 お客様は、速やかに変更ください。
 <暗証番号はATMで簡単に変更いただけます>

ハモト カズキ 様

お
取
扱
店

© 1995

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	F10-1

項 目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
☐ 資料作成費
☐ 資料購入費
☐ 人件費
☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 10 月 24 日

支 出 額

9,675 円（按分率）

支出内容

会費（総合社会福祉研究所）
 ￥9,400 + ￥275 = ￥9,675

備 考



三井住友銀行

お 取 扱 日	取引店番/機番
07-10-10	234/10 I
お 取 引 内 容	
振込	お 取 引 金 額
	¥9,400
おつり	手数料(含消費税)
	¥275
1万円 5千円 2千円 1千円	硬 貨 円
15:59	口座残高
ゆうちょ銀行	
⑨ 九 九	
当 座	
ウゴ ウジヤ カイナツ ガンギイ ヲ 様	

暗証番号の
おながい
生年月日や電話番号など他人が知り
得る番号を暗証番号に使用されている
お客様は、速やかにご変更ください。
＜暗証番号はATMで簡単に変更いただけます＞

ハモト カズキ 様

本日付でお振込致します

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	G 2 - 1

項 目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
☐ 資料作成費
☐ 資料購入費
☐ 人件費
☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 5 月 1 日

支出額

5,110 円 (按分率 %))

支出内容

年会費 「和歌山県防衛士協会」

備考 5,000 + 110 = 5,110-



自動
サービス
コーナー

ご利用明細票

お 取 扱 日	取引店番 / 繰番
07-05-01	234/12 I
お 取 引 内 容	
振込	お 取 引 金 額
	¥5,000
おつり	手数料(含消費税)
	¥110
1万円 5千円 2千円 1千円 硬貨 円	
9:34 口座残高	
紀陽銀行	
湊支店	
普通	
カヤマケンホウエイギョウガイ 様	

暗証番号の
おねがい
生年月日や電話番号など他人が知り
得る番号を暗証番号に使用されている
お客様は、速やかにご変更ください。
<暗証番号はATMで簡単に変更いただけます>

三ツナオコ 様

お
知
ら
せ

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	G3 - 1

項目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
 ☐ 資料作成費
 ☐ 資料購入費
 ☐ 人件費
 ☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 6 月 9 日

支出額

6,110 円 (按分率 %)

支出内容

年会費 (和歌山国際姉妹都市親善協会)

備考 6,000 + 110 = 6,110 -



自動サービスコーナー
紀陽銀行

ご利用明細票

お取扱日 07-06-09	取引店番/機番 234/10	I
お取引内容 振込		
お取引金額 ¥6,000		
おつり 手数料(含消費税) ¥110		
14:07 口座残高		
紀陽銀行 和歌山市役所支店 普通 ワカヤマコグサインマイトソングセンター 様		

暗証番号の
おながい
生年月日や電話番号など他人が知り
得る番号を暗証番号に使用されている
お客様は、速やかにご変更ください。
<暗証番号はATMで簡単に変更いただけます>

ワ ナオコ 様

お知り
たい

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	45 - 1

項 目	
☒ 研究研修費 ☐ 調査費 ☐ 広報費 ☐ 広聴費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 人件費 ☐ 事務所費	
支出年月日	令和 7 年 6 月 23 日
支出額	3,500 円 (按分率 %)
支出内容	年会費 (NPO法人 和歌山子どもの虐待防止協会) 馬主車場代 (6/22 2025年度 榎山ヒルガ夏 総会・公開講演会参加のため)

備考 3,000 + 500 = 3,500

領収書等貼付欄

領 収 証

丹羽 直子

様

No. _____

★ 7-3000-

但 2025年度会費として

2025年6月22日 上記正に領収いたしました 登録番号 _____

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

特定非営利活動法人和歌山子どもの虐待防止協会

〒640-8154

和歌山市六番丁43番地ハビネス六番丁ビル1F

TEL&FAX 073-425-6626

和歌山ビッグ愛駐車場

領 収 証

精算機 #02 A 精算No.000266

発券機 #05 発券No.030935

入庫時刻 2025年 6月22日(日) 12:39

出庫時刻 2025年 6月22日(日) 16:19

駐車時間 3:40

駐車料金 A料金 500円

=====

合 計 500円

(内税10%対象額 500円)

現金領収額 500円

お預り 500円

お釣り 0円

またのご利用をお待ちしております。

公益財団法人和歌山県スポーツ振興財団

登録番号 T3170005001230

NPO 法人和歌山子どもの虐待防止協会 (WSPCAN)

2025 年度 総会・公開講演会

虐待を受けた子どもの こころの理解と対応

～トラウマの視点から～

日時

2025年6月22日(日)

講演会は
一般の方々も
奮ってご参加
ください

受付：13時15分～

総会：13時30分～

講演会：14時30分～16時(予定)

場所

県民交流プラザ

和歌山ビッグ愛9階 会議室A

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2 Tel: 073-435-5245

講師

亀岡 智美 氏

公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構
兵庫県こころのケアセンター

<経 歴>

亀岡 智美 (かめおか さとみ) 兵庫県こころのケアセンター 副センター長
児童青年期精神科医、精神神経学会専門医、子どものこころ専門医

和歌山県立医科大学卒業。大阪府立病院を経て、大阪府立中宮病院松心園（現大阪府精神医療センター）に勤務。2001 年より大阪府こころの健康総合センターに勤務。2006 年より、大阪教育大学客員教授、2010 年より、大阪大学大学院連合小児発達学研究所招へい教授を併任。2012 年度より現職。子どものトラウマ専門治療である TF-CBT（トラウマフォーカスト認知行動療法）の公認トレーナー。2018 年から TF-CBT ラーニングコラボラティブ研究会共同代表。専門はトラウマ関連障害の臨床。

著書（監訳、分担執筆、単著）

子どものトラウマ治療のための絵本シリーズ「こわい目にあったアライグマくん」（誠信書房 2015）
子どものトラウマ治療のための絵本シリーズ「さよなら、ねずみちゃん」（誠信書房 2015）
子どものトラウマ治療のための絵本シリーズ「ねえ、話してみて!」（誠信書房 2015）
子どものトラウマ治療のための絵本シリーズ「えがおをわすれたジェーン」（誠信書房 2019）
「虐待された子どもの治療（第2版）」（明石書店 2019）
「子ども虐待とトラウマケア：再トラウマ化を防ぐトラウマインフォームドケア」（金剛出版 2020）
「子どものトラウマと PTSD の治療」（誠信書房 2021）
「親子複合型認知行動療法 セラピストガイド」（金剛出版 2021）
子どもの気持ちが楽になる絵本シリーズ「不安になっちゃうあなたへ」（誠信書房 2022）
子どもの気持ちが楽になる絵本シリーズ「かっとなっちゃうあなたへ」（誠信書房 2022）
子どもの気持ちが楽になる絵本シリーズ「かなしくなっちゃうあなたへ」（誠信書房 2022）
「子どもの PTSD のアセスメント—UCLA 心的外傷後ストレス障害インデックスの手引き」（誠信書房 2022）
「実践トラウマインフォームドケア—さまざまな領域での展開」（日本評論社 2022）

申込・お問合せ先

NPO 法人和歌山子どもの虐待防止協会 (かかやきホルトねこ)

和歌山県和歌山市番丁43番地1階 ハビネス六番丁ビル5F TEL/FAX 073-425-6626

<http://wspcan.jp>



政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	G 10 - /

項 目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
☐ 資料作成費
☐ 資料購入費
☐ 人件費
☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 9 月 2 日

支出額

2,275 円 (按分率 %))

支出内容

年会費 (紀の国被害者支援センター)

備考

2,000 + 275 = 2,275



自動
サービス
コーナー

ご利用明細票

お取引日	取引店番/機番
07-09-02	234/10 I
お取引内容	
振込	お取引金額
	¥2,000
おつり	手数料(含消費税)
	¥275
1万円 5千円 2千円 1千円 硬貨 円	
14:07	口座残高
ゆうちょ銀行	
〇九九	
当座	
※ノクニヒカ イシヤシエツセンター 様	

暗証番号の
お忘れ！
 生年月日や電話番号など他人が知り
得る番号を暗証番号に使用されている
お客様は、速やかにご変更ください。
 <暗証番号はATMで簡単に変更いただけます>

三ツナオコ 様

お印
を
貼
り
上
げ

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	G 11 - 1

項目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
 ☐ 資料作成費
 ☐ 資料購入費
 ☐ 人件費
 ☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 9 月 (2 日

支出額

83,440 円 (按分率 %)

支出内容

会費/正論、懇話会 R7年度分
NPO法人わかやまスローライフ承継館 令和7年度分

備考 3,000 + 110 + 80,000 + 330 = 83,440-



ご利用明細票

お取扱日	取引店番/機番
07-09-12	234/12 I
お取引内容	
振込	お取引金額
	¥3,000
おつり	手数料(金消費税)
	¥110
9:55 口座残高	
紀陽銀行 本店営業部 普通	
トクヒ.ワカヤマスローライフショウカン 様	

暗証番号の
お忘れ！
生年月日や電話番号など他人が知り
得る番号を暗証番号に使用されている
お客様は、速やかにご変更ください。
<暗証番号はATMで簡単に変更いただけます>

エリ ナオコ 様

1



ご利用明細票

お取扱日	取引店番/機番
07-09-12	234/12 I
お取引内容	
振込	お取引金額
	¥80,000
おつり	手数料(金消費税)
	¥330
9:55 口座残高	
紀陽銀行 本店営業部 普通	
ワカヤマセイロウジツリカイ 様	

暗証番号の
お忘れ！
生年月日や電話番号など他人が知り
得る番号を暗証番号に使用されている
お客様は、速やかにご変更ください。
<暗証番号はATMで簡単に変更いただけます>

エリ ナオコ 様

2

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	H 1 - 1

項 目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
☐ 資料作成費
☐ 資料購入費
☐ 人件費
☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 4 月 16 日

支 出 額

67,080 円 (按分率 %))

支出内容

旅費 (東京 4/21 ~ 4/22)

備 考

-X- 旅費請求内訳表 添付。

旅 費 請 求 内 訳 表

旅行先 東京都(特別職)		用 務 政務活動のため					旅行期間 4月21日 4月22日		日 数 1泊2日	
月 日	旅行経路	路 程 km	鉄 道 賃			船 空 賃	車 賃 実費又は定額	日 当	宿泊料	摘 要
			運 賃	特 別 料 金	急 行 料					
										定額表利用 A1451
										合計
計		0.0	-	-	-	-	-			¥ 67,080 円
航空機利用区間					公用車等利用区間					
請 求 書 下記のとおり請求します。 令和 7年 4月 日 創和クラブ 代表者 中村 元彦 様										
所 属 職 位	等級	運 賃	日 当 宿 泊 料	そ の 他 料 金	旅 費 定 額 表	支 給 額	氏 名	請求印	領収印	
議 員	市長級	-			A1451 C1+(F1*2) 43,980 23,100	67,080	中谷 謙二			
計		- 円	- 円	- 円	67,080 円	67,080 円	1 人			

整理番号

H1 - 1

令和 7 年 4 月 23 日

活動報告書

報告者名 浜田真輔、中谷謙二、林元光広、辻本太一

下記の通り、報告します。

日 時	令和 7 年 4 月 21 日 13 時～4 月 22 日 15 時
場 所	電設年金会館（東京都新宿区大久保 2 丁目 8-3）
目 的	「第 25 期自治政策講座 in 東京」参加のため
内 容	「社会の変容と目の課題－自治体の役割を考える」

■「日本の貧困の現状と政策」

～阿部 彩 氏（東京都立大学人文社会学部人間社会学科 教授）

- ・貧困支援が必要な対象は単身高齢者とふたり親世帯（核家族）の子ども
- ・困窮層の子どもは小学 1 年生の頃から授業がわからなくなる傾向が強く、自己肯定感の低下にも繋が
り、中学入学時にまったく授業についていけなくなるため、東京都足立区では中 1 の夏休みに合宿を行
い「ちゃんと教えるとわかるようになる」ことに喜びを感じる教師の事例から公教育のあり方を再考
- ・人々の関心はマスコミによってどんどん移ろうが、政策は場当たりのすべきではなく、継続的な支
援が必要
- ・自治体としてすべきことは、お金がなくても豊かに暮らしていけるまちづくり・社会づくり、孤立し
がちな高齢男性が社会と繋がっていけるように、子ども食堂を高齢者も使えるようにして、人の繋がり
+ 食と健康、図書館や巡回図書館などを充実させること

■「新たなパンデミック危機に備えるーコロナ禍で分かった地域医療の現状と課題」

～尾身 茂 氏（公益財団法人 結核予防会 理事長）

- ・医療の専門家としては、医療逼迫を避けることを第一義として対応していた
- ・専門家は提言は行うが、政府は経済や外交といった観点から決断すべきであった
- ・専門家の多くの提言（120 以上）の多くを政府は採用したが、GOTO キャンペーンとオリンピック
については、提言が採用されず、その説明も不十分だった
- ・医療逼迫が起きた原因は、我が国の医療政策にあり、特に高齢者の医療を中心として急性期・亜急性
期・リハビリテーション病床といったステージ別になっており、個室対応が必要だったコロナ禍におい
ては、一般病床を直ちにコロナ病床にすることが困難であった
- ・政府による検証は十分とは言えず、一部事実と異なる記載もあった

内 容

■「老いを迎える住まい支援とまちづくり」

～井上 由起子 氏（日本社会事業大学専門職大学院 教授）

- ・日本では「住宅」は社会保障として扱われてこなかった
- ・「住まい」はつくるものであり、住宅から地域へと繋がっていくもので、「住まい」を語ることは生活そのものを語ることである
- ・介護人材が減っていく中、各家庭にヘルパーを派遣するのは物理的に困難となるため、一定の介護度以上の方に対しては、家賃の減免をしてでも集住する方向になってくる
- ・住宅型有料老人ホームやサ高住は、国民年金や非課税世帯にとっては費用負担が重すぎて入居することができない
- ・「あんたらは入れたらおしまいだけど、こっちはその先があるんだから」という不動産関係者の言葉は、借家人の権利が強く守られている我が国の借地借家法に理由がある
- ・住宅確保と入居後支援が必要
- ・居住支援の本質は住宅×福祉と権利擁護（身元保証、死後事務委任、日常金銭管理、財産管理、葬儀、納骨、等）
- ・居住支援体制整備（資源開発とネットワークづくり）が市町村の役割
- ・居住支援協議会は地域ケア会議の居住版（和歌山県にも設置済みだが和歌山市は確認できず）
- ・推奨視察先：春日台センター（埼玉県）、ソーネ OZONE（名古屋市）

■「SNS 時代の選挙と民主主義－政治活動と受発信」

～山田 健太 氏（専修大学ジャーナリズム学科 教授）

- ・2024 年選挙で若年層投票率が 5～10 ポイント up、国民ネット人気の反映（20～40 代で自民党超え）
- ・2022 年宮崎知事選では 23 ポイント up、NHK 宮崎放送局のネット戦略の影響

以上

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	H3 - 1

項 目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
 ☐ 資料作成費
 ☐ 資料購入費
 ☐ 人件費
 ☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 4 月 24 日

支出額

30,440 円 (按分率 %))

支出内容

受講費

備考

(30,000 + 440 = 30,440)



自動
サービス
コーナー

ご利用明細票

お 取 扱 日	取引店番 / 機番
07-04-16	234/09 I
お 取 引 内 容	
振込	お 取 引 金 額
	¥30,000
お 取 引 手 数 料 (含 消 費 税)	¥440
1万円 5千円 2千円 1千円 硬 貨 円	
11:14 口座残高	
三井住友銀行	
麹町支店	
普通	
シチタイギ カイセイザク カシカイ タ	
イトヨウ カタオカ コ 様	

暗証番号の
お忘れ
生年月日や電話番号など他人が知り
得る番号を暗証番号に使用されている
お客様は、速やかにご変更ください。
＜暗証番号はATMで簡単に盗取いただけます＞

オカタニ ケンジ 様

2

© 1998

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	H4 - /

項 目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
☐ 資料作成費
☐ 資料購入費
☐ 人件費
☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 5 月 20 日

支出額

46,620 円 (按分率 %)

支出内容

旅費(5/28) 東京

備 考

-X. 旅費請求内訳表 添付。

H4-1

旅 費 請 求 内 訳 表

旅 行 先 東京都(特別職)		用 務 政務活動のため					旅 行 期 間 自 5月28日 至 5月28日		日 数 即 日		
月 日	旅 行 経 路	路 程 km	鉄 道 賃 運 賃 特 別 料 車 金			急 行 料	船 航 空 賃	車 賃 実 費 又 は 定 額	日 当	宿 泊 料	摘 要
											定額表利用 A1451
9											
計		0.0	-	-	-	-	-	-			合計 ¥ 46,620 円

航空機利用区間

公用車等利用区間

請 求 書

下記のとおり請求します。

令和 7年 月 日

創和クラブ 代表者 中村 元彦 様

所 属 職 位	等級	運 賃	日 当 宿 泊 料	そ の 他 料 金	旅 費 定 額 表	支 給 額	氏 名	請求印	領収印
議 員	市長級	-			A1451 D1	46,620	中谷 謙二		
					43,980 2,640				
計		- 円	- 円	- 円	46,620 円	46,620 円	1 人		

整理番号

H4 - 1

令和 7 年 5 月 28 日

活動報告書

報告者名

中谷 謙二

下記の通り、報告します。

日 時	令和 7 年 5 月 28 日 ~ 令和 年 月 日 (泊 日)
場 所	参議院議員会館
目 的	地方制度研究
内 容	内閣府 地方創生推進事務局による特区制度と地方創生の経緯説明と自治体事務局関連事例。 保育、教育、観光・産業、農業、医療、外国人材、交通・都市再生分野等、特区制度を活用し、規制の特例を提案・創設したり創設された特例を促したりすることで、地域課題の解決や新たなビジネスがしつくり環境をつくることで、地方創生につながる制度についての説明 出席者 内閣府地方創生推進事務局 参事 水野 正人氏 「 倉合 一真氏 企画調整官 塩屋 孝志氏 主査 萩原 純也氏

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	K1 - 1

項 目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
☐ 資料作成費
☐ 資料購入費
☐ 人件費
☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 4 月 16 日

支出額

67,080 円 (按分率 %))

支出内容

旅費 (東京 4/12 ~ 4/22)

備 考

※ 旅費請求内訳表添付。

旅 費 請 求 内 訳 表

101-1

旅 行 先 東京都(特別職)		用 務 政務活動のため						旅 行 期 間 自 4月21日 至 4月22日		日 数 1泊2日
月 日	旅 行 経 路	路 程 km	鉄 道 賃 運 賃	特 別 料 両	車 金 急 行 料	船 賃 航 空 賃	車 賃 実 費 又 は 定 額	日 当	宿 泊 料	摘 要
										定額表利用 A1451 合計 ¥ 67,080 円
計		0.0	-	-	-	-	-			

航空機利用区間

公用車等利用区間

請 求 書

下記のとおり請求します。

令和 7年 4月 日

創和クラブ 代表者 中村 元彦 様

所 属 職 位	等 級	運 賃	日 当 宿 泊 料	そ の 他 料 金	旅 費 定 額 表	支 給 額	氏 名	請求印	領収印
議 員	市長級	-			A1451 C1+(F1*2) 43,980 23,100	67,080	浜田 真輔		
計		- 円	- 円	- 円	67,080 円	67,080 円	1 人		

整理番号

101 - 1

令和 7 年 4 月 23 日

活動報告書

報告者名 浜田真輔、中谷謙二、林元光広、辻本太一

下記の通り、報告します。

日 時	令和 7 年 4 月 21 日 13 時～4 月 22 日 15 時
場 所	電設年金会館（東京都新宿区大久保 2 丁目 8-3）
目 的	「第 25 期自治政策講座 in 東京」参加のため
内 容	「社会の変容と目の前の課題－自治体の役割を考える」

■「日本の貧困の現状と政策」

～阿部 彩 氏（東京都立大学人文社会学部人間社会学科 教授）

- ・貧困支援が必要な対象は単身高齢者とふたり親世帯（核家族）の子ども
- ・困窮層の子どもは小学 1 年生の頃から授業がわからなくなる傾向が強く、自己肯定感の低下にも繋がり、中学入学時にまったく授業についていけなくなるため、東京都足立区では中 1 の夏休みに合宿を行い「ちゃんと教えるとわかるようになる」ことに喜びを感じる教師の事例から公教育のあり方を再考
- ・人々の関心はマスコミによってどんどん移ろうが、政策は場当たりのすべきではなく、継続的な支援が必要
- ・自治体としてすべきことは、お金がなくても豊かに暮らしていけるまちづくり・社会づくり、孤立しがちな高齢男性が社会と繋がっていけるように、子ども食堂を高齢者も使えるようにして、人の繋がり＋食と健康、図書館や巡回図書館などを充実させること

■「新たなパンデミック危機に備える－コロナ禍で分かった地域医療の現状と課題」

～尾身 茂 氏（公益財団法人 結核予防会 理事長）

- ・医療の専門家としては、医療逼迫を避けることを第一義として対応していた
- ・専門家は提言は行うが、政府は経済や外交といった観点から決断すべきであった
- ・専門家の多くの提言（120 以上）の多くを政府は採用したが、GOTO キャンペーンとオリンピックについては、提言が採用されず、その説明も不十分だった
- ・医療逼迫が起きた原因は、我が国の医療政策にあり、特に高齢者の医療を中心として急性期・亜急性期・リハビリテーション病床といったステージ別になっており、個室対応が必要だったコロナ禍においては、一般病床を直ちにコロナ病床にすることが困難であった
- ・政府による検証は十分とは言えず、一部事実と異なる記載もあった

内 容

■「老いを迎える住まい支援とまちづくり」

～井上 由起子 氏（日本社会事業大学専門職大学院 教授）

- ・日本では「住宅」は社会保障として扱われてこなかった
- ・「住まい」はつくるものであり、住宅から地域へと繋がっていくもので、「住まい」を語ることは生活そのものを語ることである
- ・介護人材が減っていく中、各家庭にヘルパーを派遣するのは物理的に困難となるため、一定の介護度以上の方に対しては、家賃の減免をしてでも集住する方向になってくる
- ・住宅型有料老人ホームやサ高住は、国民年金や非課税世帯にとっては費用負担が重すぎて入居することができない
- ・「あんたらは入れたらおしまいだけど、こっちはその先があるんだから」という不動産関係者の言葉は、借家人の権利が強く守られている我が国の借地借家法に理由がある
- ・住宅確保と入居後支援が必要
- ・居住支援の本質は住宅×福祉と権利擁護（身元保証、死後事務委任、日常金銭管理、財産管理、葬儀、納骨、等）
- ・居住支援体制整備（資源開発とネットワークづくり）が市町村の役割
- ・居住支援協議会は地域ケア会議の居住版（和歌山県にも設置済みだが和歌山市は確認できず）
- ・推奨視察先：春日台センター（埼玉県）、ソーネ OZONE（名古屋市）

■「SNS時代の選挙と民主主義－政治活動と受発信」

～山田 健太 氏（専修大学ジャーナリズム学科 教授）

- ・2024年選挙で若年層投票率が5～10ポイント up、国民ネット人気の反映（20～40代で自民党超え）
- ・2022年宮崎知事選では23ポイント up、NHK 宮崎放送局のネット戦略の影響

以上

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	K2 - 1

項目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
 ☐ 資料作成費
 ☐ 資料購入費
 ☐ 人件費
 ☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 4 月 24 日

支出額

30000 円 (按分率 %))

支出内容

受講料

備考

ご利用明細

本日はご来店いただきありがとうございます。
 ご利用明細をご確認のうえ、お持ち帰りください。
 裏面のご案内もあわせてごらんください。

SMBC

☆☆お振込☆☆

お振込金額 ￥30,000
 振込手数料 ￥0

お受取人は
 三井住友銀行
 三井住友銀行
 普通 口座
 〆チイキ〆カヒイカ〆カイ〆イヨウ カヲカ
 コウソウ 様
 お振込人は
 ハマダ〆ンスケ ワカマシキ〆カイ 様

お取扱日 7. 4. 10 電信振込

取扱店	番	年 月 日	時刻	印紙税申告納 付につき領町 税務署承認済
542	72	7. 4. 10	12:21	
6634				

三井住友銀行

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	M1 - 1

項目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
 ☐ 資料作成費
 ☐ 資料購入費
 ☐ 人件費
 ☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 4 月 16 日

支出額

67,080 円 (按分率 %)

支出内容

旅費 (東京 4/21 ~ 4/22)

備考

※ 旅費請求内訳表添付。

M1-1

旅 費 請 求 内 訳 表

旅 行 先 東京都(特別職)		用 務 政務活動のため						旅 行 期 間 自 4月21日 至 4月22日		日 数 1泊2日
月 日	旅 行 経 路	路 程 km	鉄 道 賃 運 賃 特 別 料 車 金 急 行 料			船 空 賃	車 賃 実費又は定額	日 当	宿 泊 料	摘 要
										定額表利用 A1451
計		0.0	-	-	-	-	-			合計 ¥ 67,080 円
航空機利用区間						公用車等利用区間				

請 求 書

下記のとおり請求します。

令和 7年 4月 日

創和クラブ 代表者 中村 元彦 様

所 属 職 位	等 級	運 賃	日 当 宿 泊 料	そ の 他 料 金	旅 費 定 額 表	支 給 額	氏 名	請求印	領収印
議 員	市長級	-			A1451 C1+(F1*2) 43,980 23,100	67,080	林元 光広		
計		- 円	- 円	- 円	67,080 円	67,080 円	1 人		

整理番号

M | - |

令和 7 年 4 月 23 日

活動報告書

報告者名 浜田真輔、中谷謙二、林元光広、辻本太一

下記の通り、報告します。

日 時	令和 7 年 4 月 21 日 13 時～4 月 22 日 15 時
場 所	電設年金会館（東京都新宿区大久保 2 丁目 8-3）
目 的	「第 25 期自治政策講座 in 東京」参加のため
内 容	「社会の変容と目の課題－自治体の役割を考える」

■「日本の貧困の現状と政策」

～阿部 彩 氏（東京都立大学人文社会学部人間社会学科 教授）

- ・貧困支援が必要な対象は単身高齢者とふたり親世帯（核家族）の子ども
- ・困窮層の子どもは小学 1 年生の頃から授業がわからなくなる傾向が強く、自己肯定感の低下にも繋が
- り、中学入学時にまったく授業についていけなくなるため、東京都足立区では中 1 の夏休みに合宿を行
- い「ちゃんと教えるとわかるようになる」ことに喜びを感じる教師の事例から公教育のあり方を再考
- ・人々の関心はマスコミによってどんどん移ろうが、政策は場当たりのすべきではなく、継続的な支
- 援が必要
- ・自治体としてすべきことは、お金がなくても豊かに暮らしていけるまちづくり・社会づくり、孤立し
- がちな高齢男性が社会と繋がっていけるように、子ども食堂を高齢者も使えるようにして、人の繋が
- り+食と健康、図書館や巡回図書館などを充実させること

■「新たなパンデミック危機に備えるーコロナ禍で分かった地域医療の現状と課題」

～尾身 茂 氏（公益財団法人 結核予防会 理事長）

- ・医療の専門家としては、医療逼迫を避けることを第一義として対応していた
- ・専門家は提言は行うが、政府は経済や外交といった観点から決断すべきであった
- ・専門家の多くの提言（120 以上）の多くを政府は採用したが、GOTO キャンペーンとオリンピック
- については、提言が採用されず、その説明も不十分だった
- ・医療逼迫が起きた原因は、我が国の医療政策にあり、特に高齢者の医療を中心として急性期・亜急性
- 期・リハビリテーション病床といったステージ別になっており、個室対応が必要だったコロナ禍におい
- ては、一般病床を直ちにコロナ病床にすることが困難であった
- ・政府による検証は十分とは言えず、一部事実と異なる記載もあった

内 容

■「老いを迎える住まい支援とまちづくり」

～井上 由起子 氏（日本社会事業大学専門職大学院 教授）

- ・日本では「住宅」は社会保障として扱われてこなかった
- ・「住まい」はつくるものであり、住宅から地域へと繋がっていくもので、「住まい」を語ることは生活そのものを語ることである
- ・介護人材が減っていく中、各家庭にヘルパーを派遣するのは物理的に困難となるため、一定の介護度以上の方に対しては、家賃の減免をしてでも集住する方向になってくる
- ・住宅型有料老人ホームやサ高住は、国民年金や非課税世帯にとっては費用負担が重すぎて入居することができない
- ・「あんたらは入れたらおしまいだけど、こっちはその先があるんだから」という不動産関係者の言葉は、借家人の権利が強く守られている我が国の借地借家法に理由がある
- ・住宅確保と入居後支援が必要
- ・居住支援の本質は住宅×福祉と権利擁護（身元保証、死後事務委任、日常金銭管理、財産管理、葬儀、納骨、等）
- ・居住支援体制整備（資源開発とネットワークづくり）が市町村の役割
- ・居住支援協議会は地域ケア会議の居住版（和歌山県にも設置済みだが和歌山市は確認できず）
- ・推奨視察先：春日台センター（埼玉県）、ソーネ OZONE（名古屋市）

■「SNS 時代の選挙と民主主義－政治活動と受発信」

～山田 健太 氏（専修大学ジャーナリズム学科 教授）

- ・2024 年選挙で若年層投票率が 5～10 ポイント up、国民ネット人気の反映（20～40 代で自民党超え）
- ・2022 年宮崎知事選では 23 ポイント up、NHK 宮崎放送局のネット戦略の影響

以上

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	M2 - 1

項 目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
 ☐ 資料作成費
 ☐ 資料購入費
 ☐ 人件費
 ☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 4 月 24 日

支 出 額

30,000 円 (按分率 %)

支出内容

受講料

備 考

No. 

領収証

発行日 2025 年 4 月 21 日

林元 光広 様

¥30,000—

但し、第25期自治政策講座 in 東京 受講料として
上記正に領収いたしました。

自治体議会政策学会
博紀

東京御成会館 5F 8 イマジン第2オフィス
TEL 03-5227-1827 FAX 03-5227-1828

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	N -

項 目

- ☒ 研究研修費
 ☐ 調査費
 ☐ 広報費
 ☐ 広聴費
 ☐ 要請・陳情活動費
☐ 会議費
 ☐ 資料作成費
 ☐ 資料購入費
 ☐ 人件費
 ☐ 事務所費

支出年月日

令和 7 年 4 月 16 日

支 出 額

67,080 円 (按分率 %))

支出内容

旅費 (東京 4/21~4/22)

備 考

-X- 旅費請求内訳表添付。

N1-1

旅 費 請 求 内 訳 表

旅 行 先 東京都(特別職)		用 務 政務活動のため					旅 行 期 間 4月21日 4月22日		日 数 1泊2日	
月 日	旅 行 経 路	路 程 km	鉄 道 賃 運 賃	特 別 料 両 面	車 金 急 行 料	船 航 空 賃	車 賃 実 費 又 は 定 額	日 当	宿 泊 料	摘 要
										定額表利用 A1451
										合計
計		0.0	-	-	-	-	-			¥ 67,080 円
航空機利用区間					公用車等利用区間					
請 求 書 下記のとおり請求します。 令和 7年 4月 日 創和クラブ 代表者 中村 元彦 様										
所 属 職 位	等 級	運 賃	日 当 宿 泊 料	そ の 他 料 金	旅 費 定 額 表	支 給 額	氏 名	請求印	領収印	
議員	市長級	-			A1451 C1+(F1*2) 43,980 23,100	67,080	辻本 太一			
計		- 円	- 円	- 円	67,080 円	67,080 円	1 人			

令和 7 年 4 月 23 日

活動報告書

報告者名 浜田真輔、中谷謙二、林元光広、辻本太一

下記の通り、報告します。

日 時	令和 7 年 4 月 21 日 13 時～4 月 22 日 15 時
場 所	電設年金会館（東京都新宿区大久保 2 丁目 8-3）
目 的	「第 25 期自治政策講座 in 東京」参加のため
内 容	「社会の変容と目の課題－自治体の役割を考える」

■「日本の貧困の現状と政策」

～阿部 彩 氏（東京都立大学人文社会学部人間社会学科 教授）

- ・貧困支援が必要な対象は単身高齢者とふたり親世帯（核家族）の子ども
- ・困窮層の子どもは小学 1 年生の頃から授業がわからなくなる傾向が強く、自己肯定感の低下にも繋がり、中学入学時にまったく授業についていけなくなるため、東京都足立区では中 1 の夏休みに合宿を行い「ちゃんと教えるとわかるようになる」ことに喜びを感じる教師の事例から公教育のあり方を再考
- ・人々の関心はマスコミによってどんどん移ろうが、政策は場当たりのすべきではなく、継続的な支援が必要
- ・自治体としてすべきことは、お金がなくても豊かに暮らしていけるまちづくり・社会づくり、孤立しがちな高齢男性が社会と繋がっていけるように、子ども食堂を高齢者も使えるようにして、人の繋がり＋食と健康、図書館や巡回図書館などを充実させること

■「新たなパンデミック危機に備える－コロナ禍で分かった地域医療の現状と課題」

～尾身 茂 氏（公益財団法人 結核予防会 理事長）

- ・医療の専門家としては、医療逼迫を避けることを第一義として対応していた
- ・専門家は提言は行うが、政府は経済や外交といった観点から決断すべきであった
- ・専門家の多くの提言（120 以上）の多くを政府は採用したが、GOTO キャンペーンとオリンピックについては、提言が採用されず、その説明も不十分だった
- ・医療逼迫が起きた原因は、我が国の医療政策にあり、特に高齢者の医療を中心として急性期・亜急性期・リハビリテーション病床といったステージ別になっており、個室対応が必要だったコロナ禍においては、一般病床を直ちにコロナ病床にすることが困難であった
- ・政府による検証は十分とは言えず、一部事実と異なる記載もあった

内 容

■「老いを迎える住まい支援とまちづくり」

～井上 由起子 氏（日本社会事業大学専門職大学院 教授）

- ・日本では「住宅」は社会保障として扱われてこなかった
- ・「住まい」はつくるものであり、住宅から地域へと繋がっていくもので、「住まい」を語ることは生活そのものを語ることである
- ・介護人材が減っていく中、各家庭にヘルパーを派遣するのは物理的に困難となるため、一定の介護度以上の方に対しては、家賃の減免をしてでも集住する方向になってくる
- ・住宅型有料老人ホームやサ高住は、国民年金や非課税世帯にとっては費用負担が重すぎて入居することができない
- ・「あんたらは入れたらおしまいだけど、こっちはその先があるんだから」という不動産関係者の言葉は、借家人の権利が強く守られている我が国の借地借家法に理由がある
- ・住宅確保と入居後支援が必要
- ・居住支援の本質は住宅×福祉と権利擁護（身元保証、死後事務委任、日常金銭管理、財産管理、葬儀、納骨、等）
- ・居住支援体制整備（資源開発とネットワークづくり）が市町村の役割
- ・居住支援協議会は地域ケア会議の居住版（和歌山県にも設置済みだが和歌山市は確認できず）
- ・推奨視察先：春日台センター（埼玉県）、ソーネ OZONE（名古屋市）

■「SNS 時代の選挙と民主主義－政治活動と受発信」

～山田 健太 氏（専修大学ジャーナリズム学科 教授）

- ・2024 年選挙で若年層投票率が 5～10 ポイント up、国民ネット人気の反映（20～40 代で自民党超え）
- ・2022 年宮崎知事選では 23 ポイント up、NHK 宮崎放送局のネット戦略の影響

以上